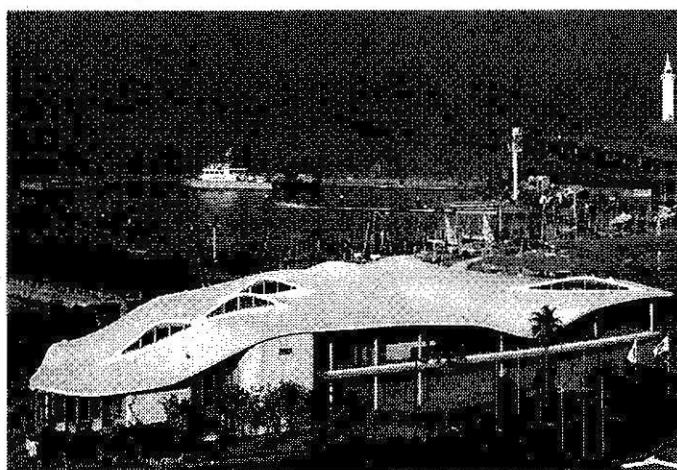


# 相模経済新聞

THE SAGAMI KEIZAI



建築工事を担当した湘南港ヨットハウス

## 3賞受賞の谷津建設

神奈川建築コンクールの一般建築部門で優秀賞を受賞した湘南港港湾管理事務所（湘南港ヨットハウス）の建築工事を担当した谷津建設（相模原市中央区東淵野辺）が同賞のほか、県建設業協会賞と県建築士会賞も受賞した。（芦澤 康成）

同工事は特徴的な波型の自由曲面の屋根を実現するため、極めて高度な技術が必要とされた。ま

た、建設地が海に面していたため、激しい風雨で工事がたびたび中止になるなど、厳しい施工条件で行われた。

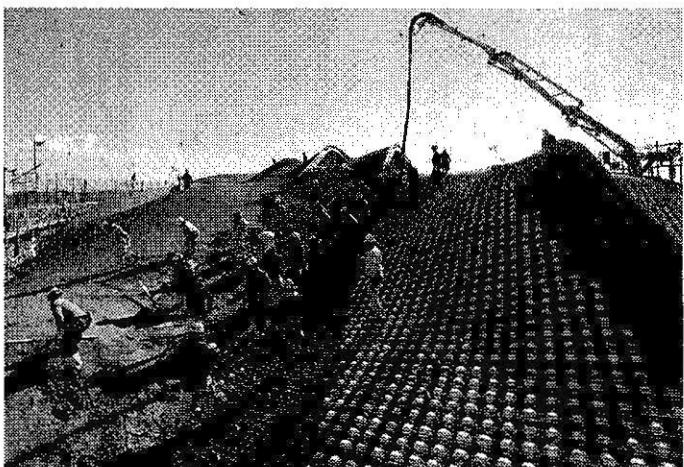
複雑な形状を持つ曲面を施工するため、緻密な計画を練る必要がある。そこで、同社が採用したのが、「3Dプリンタ」を使用した精密模型の製作だった。

立体的な模型は、足場や型枠、支保などの組み方を入念に検討でき、図面だけでは認識できない情報も把握できた。模型は、同市内企業で自動車モデル製作などを手掛けた湘南デザイン（緑区橋本台）が担当した。まさ

たな可能性を示す事例となつた。

自由曲面の屋根は、厚さ300ミリの鉄筋コンクリート（RC）を細い

鉄骨柱で支え、水平力はRCの耐震コアが受け持つ構造。潮風を考慮して、塩害に強い高強度コンクリートがかぶり厚50



1日でコンクリートを打つ難工事

屋根の面積は2000平方㍍を超える。通常は4分轍で打つ600立方法のコンクリートを、潮風の影響を避けるため1日で打設した。谷津社長は「翌日は天候が荒れた。日程が1日遅れれば工事はできなかつただろう」と振り返る。また、難工事を完成させたことについて「やればできる。考え抜けば、知識や経験から知恵を得ることがで

## 湘南港のヨットハウス建築工事

# 3Dプリンターで模型製作

ミメで覆う。

屋根の鉄筋の隙間に発泡樹脂の球体を入れ、量化することで小梁を少なくし、複雑なデザインを可能にした。また、断熱効果や防音効果も期待できるといふ。

4分轍で打つ600立方法のコンクリートを、潮風の影響を避けるため1日で打設した。谷津社長は「翌日は天候が荒れた。日程が1日遅れれば工事はできなかつただろう」と振り返る。また、難工事を完成させたことについて「やればできる。考え抜けば、知識や経験から知恵を得ることがで